

地域おこし協力隊通信

—— 第73回 ——

「 退任のごあいさつ 」

地域おこし協力隊

廣瀬將丈・楽星



大変お世話になりました。
ありがとうございました！

3月末をもって3年の任期終了ということ
で廣瀬が担当する最後の地域おこし協力隊通
信となりました。

3年前の春に協力隊の募集を見て応募し、
初年度は、8月に家を買って、9月に入院し
て、冬にはコロナが始まりました。2年目は
コロナ禍での活動の模索でした。3年目は活
動拠点も活動内容も変えるという、目まぐる
しい毎日だったと思います。

これまで経験したことのない雪や耳にした
ことのない方言などに驚きや戸惑うこともた
くさんありましたが、些細なことでも気にか
けて声をかけていただき、多方面で周りの皆
さんに助けられました。本当に出会って来た
皆さんに救われたと感じています。お世話に
なった皆さんとご縁に感謝し、引き続き自
分を興しながら、誰かの役に立てるように
日々精進して参ります。

約3年間活動させていただき、本当に多く
のことを勉強させていただきました。いろい
ろ新しいことにチャレンジさせてもらいまし
たが、皆さんに何か一つでも届いていたらう
れしいなと思います。

最後に、観光協会の皆さん、遊楽回廊協議
会の皆さんほか、多くの関係者の方々、3年
間ありがとうございました。そして、これか
ら町内におりますのでよろしくやってやっ
て下さい。
(廣瀬)

一昨年6月から遊楽回廊協議会事務局で
町のインバウンド交流の拡大、町内観光施
設の多言語化などを担当しました楽星です。
地域おこし協力隊に就任してから2年の
間、さまざまな人と出会い、いろいろな面白
いことを体験しました。就任してから新型
コロナウイルスの関係で、もともと予定し
ていたインバウンド関係のことはほぼでき
ず、かわりに、在住の外国人たちとの交流
や中国語と日本語の教室を中心に活動しま
した。具体的には、まだ日本語を身につけ
ていない在住外国人を対象とする「30グ
ループ」を作り、日常の会話をしながら生活
や仕事の悩みを聞き、白鷹町の在住外国人
の生活をサポートしました。また、初心者
向けの日本語講座を開催しました。そのた
め、町内に在住している中国人や町民との
交流が深まり、友達も増えました。仕事だ
けではなく、生活上においても近所の方々
との関係が深くなったと思います。皆さん
優しく、よく野菜やお惣菜を分けても
らったりしましたし、冬期間の除雪も助け
てもらいました。

これからは自分の学業のため仙台市に戻
りますが、白鷹町の皆さん、職場の同僚及
び在住外国人の皆さん、本当にありがとう
ございました。

(楽星)



イベントや中国語教室開催など
日本と中国の交流を行いました。(楽隊員)



モルツクの普及・発展のため
町民大会を開催しました。(廣瀬隊員)

